

そのポイに
力はあるか!?

金魚すくいに使われるもの



小赤 (和金)
金魚の原点ともいえる品種であり、流線型の体型が特徴。
金魚すくいに使われる小赤は、体長が4センチ程度の金魚である。

ポイ (紙ポイ)
プラスチックの枠に和紙が貼られたもの。
金魚すくいに使われるポイは、5号(内径約8センチ)を使用。1回の競技で1人1枚まで。



フネ (水槽)
縦136センチ、横65センチ、深さ23センチのものを使用。水の深さは10センチ。1つの水槽で、4人(団体戦なら2チーム)が同時に競技可能。



そのポイに 力はあるか!?

1匹、2匹、3匹…
ポイは次々と金魚をすくい、
お椀はすぐに金魚であふれかえった。
ポイ一つ、もとい紙1枚で、
どうしてそこまで金魚がすくえるのか。
そこにはきつと何かコツがあるはずだ!

も金魚の名産地といわれるようになりまし。

(『町史』より引用)

現在のPR事業

長洲金魚のすばらしさを広くPRするために、町内外で金魚すくい体験を行っています。
また、5月には、九州金魚すくい選手権大会が長洲町で行われるなど、長洲町は金魚すくいも盛んな町といえます。



2月8日ゆのまえ 苺まつりで
行った金魚すくい無料体験

長洲町の金魚
金魚の原産地は、お隣中国の江西省と言われています。日本に初めて入ってきたのは、西暦1502年。現在の大阪府堺市に輸入されたとされています。
その後、どのようなルートで長洲町に入ってきたか、はっきりとはわかっていません。
しかし、長洲町史によると肥後(熊本県)細川藩の記録には「長洲で金魚養殖がされていた」と記されているので、約350年前には、すでに長洲町で金魚の養殖が行われていたということになります。
現在は、金魚の養殖で有名な奈良県大和郡山市や愛知県弥富市などと並んで、長洲町

全国金魚すくい選手権大会 出場を経験して

全国大会に出場ということ、奈良県の大和郡山市に行ってきた。金魚の町として有名な町なので、出場していた選手の人たちはとてもレベルが高かった。それに、『金魚すくい塾』と書かれたシャツを着ている人もいて、金魚すくいが盛んな町だと実感しました。
大会記録は11匹でした。あと1匹というところで決勝進出を逃してしまい、とても悔しかったです。
この目標は
ことしも5月の九州金魚すくい選手権大会に出場したいと思っています。去年の大会では優勝できませんでしたが、ことは20匹以上すくって優勝し、全国でも優勝できるように頑張りたいと思います。

どうやって練習したのか

金魚すくいには、ポイの使い方などいくつかのコツがあります。金魚すくい名人の三島さんにコツを教えてもらい、金魚がすくえるようになりました。



ひろと
松崎拓人くん 腹赤小学校
第19回全国金魚すくい選手権大会 出場

名人が教える!

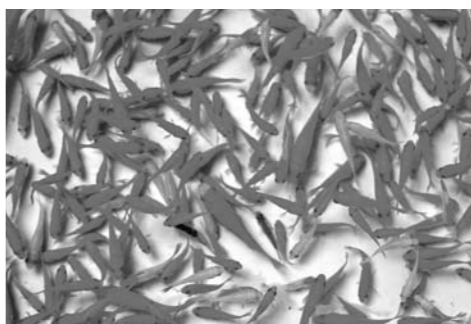
金魚すくいのコツ!!

ポイにかかる水の抵抗を減らす!



- 一、ポイをななめに
して入水させるべし
- 一、水中では水平に
移動させるべし
- 一、金魚をすくった
ら水を切りながら、
ななめに上げるべし

大きな金魚はポイが破れやすい!



- 一、大きな金魚は重
さで破れやすい
- 一、極力小さな金魚
を見定めるべし
- 一、小さくても活き
の良い金魚はポイを
破りやすいので注意

残り1分から勝負!



三島孝正さん(梅田区)
第7回大会から第9回大
会において3連覇を達成。
金魚すくい名人としてテレ
ビ出演も果たした。



- 一、いくら破れない
ように注意してもポ
イは紙でできている
ことを忘れない。
- 一、酸欠で浮いてく
る金魚がいたら狙い
目

一つ目のポイントはポイの動かし方です。金魚すくいに使われるポイは和紙でできています。そのため、水に浸すととても破れやすくなってしまう。そう、ポイが破れてしまう一番の原因は、「水」です。水の抵抗や水の重さが破れる原因となってしまう。ポイはなるべく水の抵抗を受けないよう、ななめにして入水し、水中では水平に動かし、金魚をすくう際はななめにあげるといいでしょう。

二つ目のポイントは、すくう金魚の選別です。公式ルールで、すくい金魚の体長は2〜4センチとなっています。そうすると、やはり大きい金魚をすくってしまつと、重みでポイが破れてしまいます。できるだけ小さな金魚をすくうのが多くすくうコツです。ただ、小さくても活きのいい金魚がいます。ポイの上でビチビチ暴れるのも、破れる原因の一つですので、そこも見極めながら金魚を選ばなくてはなりません。

三つ目は時間の使い方です。大会は制限時間3分間で何匹の金魚をすくえるかという競技ですが、実際に3分間ずっとすくっている人は多くありません。また、競技中はエアレーション(空気を送り込む機械)を抜いているので、2分もすれば酸欠で水面に浮いてくる金魚が出てきます。残り1分で素早く多くすくえるようにしましょう。ただし、焦って上の二つのポイントを忘れると、ポイはすぐに破れてしまうので注意が必要です。

金魚すくいにも

ルールがある



禁止事項

ついやつてしまいがちな反則行為

① 両手の使用

競技者は必ず片手で競技を行い、もう一方の手でボールを触れてはならない。(大会規定第6条1項)

上の写真のように、両手を使った金魚すくいは大会では禁止されています。ついポイを持たない手を使ってしまいがちですが、使わないように気を付けましょう。

② 壁すくい

競技者は水槽の壁面を利用してポイで金魚をすくい上げる行為をしてはならない。(壁すくいの禁止) (大会規定第6条3項)

③ 流し込み

競技者は金魚をすくう際、ポイを水面から完全に上げずに金魚をボールへ流しこんではならない。(流しこみの禁止) (大会規定第6条4項)

反則行為、または著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた者は、すぐに競技を終了しなければなりません。また、前項のような反則行為によってすくった金魚は計数されないので注意してください。



そのポイントに
力はあるか!?

長洲の魅力である金魚。
金魚すくいもまた、魅力ある競技です。
ことしは20回目の大会となります。
優勝目指して出場し、
歴史に名を残してみませんか？



第20回火の国長洲 金魚まつり

5月3日(日)、4日(月)

場所 金魚と鯉の郷広場

第20回九州金魚すくい選手権大会 出場者募集!

- 日時** 5月3日(日) 個人戦、4日(月) 団体戦
受付 午前10時～正午
競技 午後1時～
- 場所** 金魚と鯉の郷広場内 イベント広場中央アルプステント
- 定員** 個人戦 小中学生の部・一般の部 各200人
団体戦 50チーム
※団体戦は3人1組での出場となります。
- 参加費** 無料
- 申込方法** 電話またはFAX、メール、ハガキで申し込みください。
☎・📠まちづくり課 ☎ (78) 3219 FAX (78) 1092
メール shoukou@town.nagasu.lg.jp
住所 〒869-0198 玉名郡長洲町大字長洲2766

金魚すくい道場
開講中!



金魚すくいを
極めろ

金魚の館では1月から毎月、金魚すくい道場を開講しています。
5月の九州金魚すくい選手権に向けて金魚すくいのコツなどを教えています。
練習が終わった後は、選手権大会本番と同じ公式ルールで、3分間に何匹の金魚がすくえるかを競います。

金魚すくい道場歴代優勝者

△一般の部▽	
第1回(1月25日開講)	優勝 山本 幸二さん 12匹
第2回(2月22日開講)	優勝 川上 光二さん 18匹
第3回(3月22日開講)	優勝 永井 雅代さん 6匹
△小中学生の部▽	
第1回(1月25日開講)	優勝 宮本佳奈美さん 11匹
第2回(2月22日開講)	優勝 成瀬 由州くん 14匹
第3回(3月22日開講)	優勝 榑原 尚悟くん 9匹

第4回 金魚すくい道場開講! ~大会前に腕試ししてみませんか?~

- 日時 4月26日(日)
受付:午前9時30分~
大会:午前10時~
- 場所 金魚の館
- 参加費 無料
- 定員 30人
- 📞まちづくり課 ☎(78)3219

求め!



挑戦者

